

(参考訳)

平成 31 年 3 月 11 日

株式会社 東芝

取締役、代表執行役会長 CEO 車谷暢昭 様

(写し) 取締役会議長 小林喜光 様

東芝 | 新たな取締役候補者の提案

車谷会長殿

当社は東芝の主要株主の一人として、貴社が東芝 Next プランを通じ、多大な潜在価値を実現できるものと心から信じており、全てのステークホルダーの利益となる国際的競争力を有する会社にするというビジョンを貴殿と共有しています。私たちは、同じ目標も共有していると信じています。即ち、説明責任の文化を定着させること、組織の全階層で効率が改善されること、資本配分の統制に注力すること、営業外及び不採算事業・資産の価値を最大化すること、そして、東芝の事業ポートフォリオの焦点を新たに定めることです。私たちの目標は、東芝を再び日本企業を代表する地位に戻すことです。貴殿の CEO への指名は、東芝のリーダーシップ向上に向けた重要な第一歩を意味しました。これと等しく重要な次の一歩は、取締役会の構成を劇的に変化させることです。そこで当社は、この歴史的な再生において貴殿を支援する為に、取締役会の過半数の後任として、キング・ストリートの共同創業者であるブライアン・J・ヒギンスを含む新たな社外取締役の候補者を提案する予定です。

過去数年間を通して、貴社の舵取りをされてきた現在の取締役の仕事は、賞賛に値するものであり、彼らの多大な貢献に敬意を表します。一方で、再建計画を先導する取締役会は今までとは違った性質が必要です。国内外の事業環境は急速に変化しており、貴社の各事業部門はより激しい競争に直面しています。貴社のどの階層においても、現状に満足している余裕はありません。貴社がその技術的な強みを最大限活かし、従業員が革新的な潜在能力を発揮できるよう導くことができる経験を有する取締役会が必要です。また、取締役会は、貴社の潜在価値を実現できるよう、社内に新たな危機感、積極的な意思決定、利益成長に必要な思考をもたらさなければなりません。2018 年 10 月の当社プレゼンテーション (www.unlockingtoshibavalue.com) に記載しましたように、適切なリーダーシップの下、東芝の株価は 11,000 円を超え得ると考えていますが、現状維持では達成しえません。

新たな取締役会は、とりわけ、以下の事項を行う必要があります。

- (1) 経営陣に、余剰資金の活用・最適な資本構成の決定・設備投資の回収を含む資本配分に関する決定に際しては、厳格な財務的規律を採用させること
- (2) 東芝の事業ポートフォリオを、競争力、業界の状況、シナジー及び利益成長の見込みの観点から批判的に見直すよう経営陣に促すこと
- (3) 営業外及び不採算事業・資産の評価を行うよう経営陣に指示すること（東芝が日本の安全保障上の利益に重要な特定の事業に関与する必要性には配慮する）
- (4) 堅実なボトムアップ分析に支えられた予測に基づき、各事業分野において国際的な競争相手の利益水準を経営陣に達成させること
- (5) 組織の全階層で、説明責任及び当事者意識の文化を定着させること

当社は、上記の優先事項を理解し、東芝 Next プランを実行する為に時間、エネルギーと専門性を捧げる意欲があり、高い能力を有する人材を複数名特定しました。それらの候補者が有する独立性、指導力、そして資本配分、投資、M&A、企業再生に関する専門知識や、事業経験、国際経験、コーポレート・ガバナンスの知識は、東芝の再生を成功させる実現性を最大化することでしょう。

貴殿は、東芝 Next プランを通じて、貴社の事業を変革しようとしています。その努力を全面的に支援する為、キング・ストリートもたゆまぬ努力を重ねています。過去2年間、当社は幅広く建設的な対話、深い考察に基づく分析と提案、また2017年11月の第三者割当増資への参加を通じて、東芝へのコミットメントを示してきました。当社の共同創業者ブライアン・J・ヒギンスを取締役候補者とする提案は、キング・ストリーの日本、東芝及び貴殿の成功に対する深いコミットメントを示す更なる証となります。

東芝の再生により多大な潜在価値が実現されること、日本のコーポレート・ガバナンス改革において東芝の成功事例が重要であること、東芝の再生にグローバル資本市場が注目していることを踏まえ、当社はこの重要な一歩を踏む所存であります。東芝が、明確な危機感を持つことにより、再び日本を代表する会社になり、安倍政権が掲げる「第三の矢」の改革の中の手本となることができると、当社は確信しています。また、東芝がグローバルなステージにおいても、傑出した存在になる為、当社は引き続き尽力致します。

以前協議しましたように、本件につきまして、当社は依然として合意による解決を希望しています。しかし合意できない場合には、東芝の株主総会の日程に沿い、適時具体的な候補者を提案します。

以上、よろしくお願い申し上げます。

キング・ストリート・キャピタルマネジメント L.P.